

東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和6年12月 東白杵農林振興局
(東白杵南部農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
- 1 【全域】管内初の「外国人材について知ろう!」研修会を開催
 - 2 【全域】若手農業者と農業経営指導士との意見交換会を開催
 - 3 【全域】県花き生産連スイートピー部会現地検討会に参加
- II 主な普及指導活動等の取組
- 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 3～5)
- [総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]
[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]
- 1 【日向市、美郷町】新規就農者の検討会を開催
 - 2 【日向市】JA施設胡瓜専門部会での研修受入に向けた検討会を実施
 - 3 【美郷町】牛舎の寒冷対策チェックを実施
 - 4 【諸塚村】肉用牛動態表作成支援を実施
 - 5 【日向市】冬春ミニトマト品種比較展示ほ調査を実施
 - 6 【日向市、門川町、諸塚村、美郷町】スイートピー出荷目揃え会で切り花品質を確認
 - 7 【日向市、門川町、諸塚村、美郷町】スイートピー全戸巡回を実施
 - 8 【日向市、門川町】へべす産地戦略ビジョン見直し検討を支援
 - 9 【日向市、門川町】露地へべす栽培管理講習を実施
 - 10 【椎葉村】ほうれんそうの個別面談を実施
- 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 6～7)
- 1 【全域】水稲実績検討会を実施
 - 2 【美郷町】飼料作展示ほ場の初期草勢を確認
 - 3 【日向市】みやざき地頭鶏販促活動を支援
 - 4 【美郷町】くり剪定講習を実施
 - 5 【諸塚村、美郷町】ランタンキュラス全戸巡回を実施
 - 6 【日向市、諸塚村、美郷町】ホオズキの来作に向けた栽培管理を支援
 - 7 【門川町】施設園芸大雨浸水被災生産者への事後対策支援を実施
 - 8 【椎葉村】農業者研修動画の視聴会を開催
 - 9 【椎葉村】七草目揃い会で消費者に喜ばれる商品作りを確認



東白杵南部農業改良普及センター
ホームページ

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【全域】管内初の「外国人材について知ろう!」研修会を開催

17日、門川町役場で宮崎方式営農支援体制農業者研修「外国人材について知ろう!」を開催し、生産者9名、関係者16名の参加がありました。

始めに、県庁担い手農地対策課から「外国人材の基礎知識と情勢、宮崎県の取組」について説明があり、新制度の育成就労や県とベトナム国との連携した取組、住居確保に係る取組等について学びました。続いて、特定技能1号外国人の派遣を行っている、YUIME(株)から「農繁期に派遣という選択肢」と題して講演をいただき、労力確保に関し、産地や複数市町村で連携した取組等について学びました。

参加した生産者からは、積極的に質問が出されるとともに、「外国人材の印象が変わった。産地としての取組も含め、前向きに考えられるようになった。」との感想が聞かれました。



【特定技能1号外国人の派遣について説明を受ける参加者】

2 【全域】若手農業者と農業経営指導士との意見交換会を開催

5日、JAひむかホールで日向地域農業再生協議会担い手対策部会と普及センターとの主催で、生産者22名、関係者22名の計44名が参加し、「先輩農業者の経営の工夫を学びませんか?」と題して意見交換会を開催しました。

普及センターから雇用に関する情報提供を行った後、JA冬春ミニトマト専門部会長から、経営改善の実践事例を紹介していただきました。その後、3つのグループに分かれ農業経営指導士の進行により、意見交換会を行いました。

また、併せて実施した交流会にも42名が参加され、大変有意義な会となりました。

若手農業者から、「部会長が実践している栽培手法(ブロック管理)に取り組んでみたい」や「経営についていろいろな視点の意見が聞けて良かった」等、数多くの満足したコメントが寄せられました。



【グループ討議での意見交換】

3 【全域】県花き生産連スイートピー部会現地検討会に参加

19日、南那珂地域の現地ほ場とJAはまゆうにおいて、生産者24名、関係者16名が参加し、県花き生産連スイートピー部会現地検討会が開催されました。(管内から生産者1名、関係者2名参加)

現地検討会では、日南市東郷の現地ほ場で生育状況や栽培管理について説明が行われ、管内生産者からは南那珂地域も同様に高温対策に苦勞していることに意見が出され、活発な情報交換が行われました。室内検討会では、試験場の専門技術センターから飽差を意識した花シミ対策について、花き部から新品種候補の現地試験等について研修がありました。

年明けからは花シミによる事故品が増加傾向にあるため、今回の研修を活かし、ハウス内の結露の発生を抑えられるように指導していきます。



【ほ場主からの生育状況の説明】

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミトト、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイトピー 等]

1 【日向市、美郷町】新規就農者の検討会を開催

10日及び16日、日向市と美郷町で、就農を希望する3名に対して、新規就農検討会を実施しました。

就農希望者はそれぞれ養鶏、きんかん、シキミでの就農を希望しています。検討会では、就農計画の作成支援や活用できる事業の説明等を行いました。

次回の検討会までに、就農について家族内で話し合うことや就農計画の修正を行うよう助言しました。

2 【日向市】JA施設胡瓜専門部会での研修受入に向けた検討会を実施

9日及び23日、日向市のJA施設胡瓜専門部会員2名を、関係者4名で訪問し、新規就農者育成総合対策における認定研修施設での受入体制整備に向け、研修内容や受入に必要な書類の説明等を行いました。

今後も、部会と検討を行い、今年度中の研修受入体制整備に向け、準備を進めていきます。



【研修受入れの説明】

3 【美郷町】牛舎の寒冷対策チェックを実施

19日、美郷町南郷の重点農家1戸の牛舎で、寒冷対策チェックを実施し、農家が行っている対策を確認したほか、事前に設置していたデータロガーで1週間の気温の動向を農家と一緒に確認しました。

その結果、日中と夜間の寒暖差が大きいことや牛の快適温度の下限を下回る時間帯が長いことが分かり、現在の対策に加えて、ネックウォーマー等の防寒着の活用やコンパネの追加設置などを提案しました。

農家も予想外に寒暖差が大きいことに気づき、気温に注意して子牛の防寒着の脱着を行うという意識を高めていました。



【データロガーの設置】

4 【諸塚村】肉用牛動態表作成支援を実施

18日、諸塚村の重点農家1戸に対して、母牛毎の繁殖動向等を示した動態表の作成支援を行いました。

動態表を作成することで、母牛の導入年、種付から妊娠期間、出産回数や更新時期の予測等が一覧表になります。農家は動態表を確認することで、廃用牛が増加する時期の把握や、来年あたりから徐々に更新牛を導入していく必要があるという認識を持つことができたようでした。

今後は動態表を基に資金計画を作成し、今後の資金繰りを検討できるよう支援していきます。



【肉用牛動態表作成支援】

5 【日向市】冬春ミニトマト品種比較展示ほ調査を実施

12日、日向市の展示ほ場において、関係機関3名が参加し、展示ほ調査を実施しました。

今作では、従来品種より良食味かつ作業性に優れるとされる新品種1つについて、9月から定期的な生育・果実調査を行っています。

今回までの調査では、慣行品種との間に大きな違いは見られませんが、年明け以降に、新品種の糖度がどのような推移となるか注目しているところです。今後も定期的な調査を行って新品種の現地適応性を検討していきます。



【新品種の生育】

6 【日向市、門川町、諸塚村、美郷町】スイートピー出荷目揃え会で切り花品質を確認

18日、JA塩見選果場において、生産者7名、関係者3名が参加し、出荷目揃え会が開催されました。

会では、実際に出荷箱を開けて、ステムの曲がり、花シミ等の発生、切り前の状況について確認を行った後、JAから年末年始の出荷日についての調整や販促活動についての情報提供が行われました。

普及センターからは気象概況、収穫時期の肥培管理について講習を行うとともに、試験場より発表された研究成果の共有と来年度の展示ほ設置の提案を行いました。また、11月は高夜温が続いたことから、12月の開花が遅延傾向となったため、生産者には、年内は株に栄養を蓄えさせ、年明けからの出荷に備えられる肥培管理を心がけるよう意識付けを行いました。



【参加者全員で出荷物を確認】

7 【日向市、門川町、諸塚村、美郷町】スイートピー全戸巡回を実施

12日と18日、20日、24日、関係者2名でスイートピーの全戸巡回を行いました。今作の生産者は6戸となっており、どの生産者ほ場でも高温障害により開花が遅れていることを確認しました。病害虫の発生は少なく、ハウス内の温度管理が重要になることから加温器の稼働状況について確認を行うよう指導しました。引き続き品質・収量向上に向けて関係者と支援していきます。

8 【日向市、門川町】へべす産地戦略ビジョン見直し検討を支援

24日、JA日向地区本部本店にて生産者12名、関係者9名が参加し、へべすの産地戦略ビジョン班会が開催されました。

今回から班員の一部が変更になったため、産地戦略ビジョンの目標等について改めて確認を行いました。その後は「担い手支援・労力確保」、「収量向上」、「販売・PR等」の3班に分かれ、班ごとにロードマップの取組内容について協議を行い、普及センターは各班で協議の進行をサポートしました。参加した生産者から活発に意見が出されました。年明けに再度ロードマップの検討を行う予定です。



【産地戦略ビジョン班会で協議】

9 【日向市、門川町】露地へべす栽培管理講習を実施

20日、日向市の4か所にて、生産者20名、関係者2名が参加して露地へべすの栽培管理講習を実施しました。

近年は剪定を年内に始める生産者が増えたため、剪定講習を早めました。JAから夏秋梢の処理や土壌改良等について説明があった後、普及センターから剪定方法について、実際に剪定を実施しながら説明しました。また、重点対象集団の日知屋支部では栽培管理チェックシートを配付し、今年産の振り返りと来年度に向けた課題設定をお願いしました。剪定方法に迷う生産者も多いため、部会のアドバイザー生産者2名も参加して助言いただき、実践的な講習を行うことができました。



【露地へべすの管理講習】

10 【椎葉村】ほうれんそうの個別面談を実施

16日～20日、ほうれんそう専門部6戸の各ほ場で個別面談を行い、今年度の振り返りと次年度計画の聞き取り、産地戦略ビジョン検討会に向けての説明を行いました。

各生産者とも今年度は、高温や曇雨天等で栽培管理が例年以上に難しく、水管理の改善や高温対策、品種の検討など、次年度の改善点を考えるきっかけとなったようです。また、次年度は播種から収穫までの作付け期間を的確に管理し、1ハウスでの栽培の回転数を高めたいという生産者も多く、駐在としてこのニーズを支援することで次年度の収量向上が期待できると受け止めました。

また、来月には産地戦略ビジョン検討会の開催が予定されており、生産者同士の活発な意見交換が行われるよう関係者と連携して準備し、産地力強化を図る予定です。



【ほうれんそう生産者の個別面談】

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【全域】 水稲実績検討会を実施

4日、普及センターにて作物部会員17名が出席して、水稲実績検討会を実施しました。

会議の中では令和6年産水稲の概況や次年の対策、各市町村の取り組み内容についての協議を行いました。次年の対策では、近年たい肥や土壌改良剤の利用が少なくなっていることから、土づくりを見直していくことになりました。

今回の協議結果を基に1月の栽培講習会では土づくりについての講習を行い、次年度の水稲作に向けて支援していきます。



【水稲実績検討会】

2 【美郷町】 飼料作展示ほ場の初期草勢を確認

9日、美郷町西郷に設置しているイタリアンライグラス奨励品種選定試験展示ほの3品種について、初期草勢確認を実施しました。

どの品種も生育良好で品種間に大きな差は見られませんでした。

今後も、生育状況の確認を定期的に行い、地域に適した品種を検討していきます。



【飼料作展示ほ場】

3 【日向市】 みやざき地頭鶏販促活動を支援

7日、日向市の八菜館にて美郷町みやざき地頭鶏加工組合農家1戸と関係機関が協力して地頭鶏炭火焼のPR販売を行いました。このイベントは、みやざきブランド認証品目である「みやざき地頭鶏」のPRを兼ねて行いました。

地頭鶏炭火焼の匂いに誘われて、多くのお客さんがみやざき地頭鶏を購入され、魅力が伝わる絶好の機会となりました。

今後も、みやざき地頭鶏のPR活動を支援していきます。



【みやざき地頭鶏販売】

4 【美郷町】 くり剪定講習を実施

26日、美郷町西郷及び南郷の現地2か所において、生産者約30名と関係者3名が参加して剪定講習を実施しました。

普及センターから剪定の目的を説明した後、成木の基本的な剪定方法として優先的に切るべき枝や残す枝の選び方、二次伸長した結果母枝の扱いについて、実際に剪定を行いながら説明しました。南郷では成木のカットバック後に発生した枝の整理についても説明しました。講習後に美郷町が貸し出す剪定枝粉碎機や電動高枝切りチェーンソーの実演が行われ、生産者の関心を集めていました。



【剪定枝粉碎機の実演】

5 【諸塚村、美郷町】ラナンキュラス全戸巡回を実施

24日、関係者2名でラナンキュラスの巡回を行いました。今作の生産者は2戸となっており、生育初期の高温により、株の太りが例年より遅れている様子でした。そのため来年度の改善点として、定植前のハウス内気温への馴化時間の確保や、球根更新時の新たな品種や切り花単価の高い品種の選定を提案しました。

今後も年明けからの出荷に備えて引き続き支援していきます。

6 【日向市、諸塚村、美郷町】ホオズキの来作に向けた栽培管理を支援

2日と9日～11日に、JA各支店において、生産者10名と関係者2名が参加し、来作に向けた個人面談を実施しました。

JAと普及センターから、土壌分析結果に基づいた施肥設計の説明を行った後、来作の定植予定面積等について聞き取りを行いました。また、現在の苗の確保状況や土壌消毒について意見交換を行い、生産者からは作付け準備に関する工夫や来年度も品質の高いホオズキを生産しようという意気込みがうかがわれました。

7 【門川町】施設園芸大雨浸水被災生産者への事後対策支援を実施

4日と16日、27日に、門川町庵川地区において、10月大雨浸水で被害を受けた生産者への支援を行いました。

10月22日から23日にかけての大雨により、門川町庵川地区は甚大な被害を受けました。被害を受けながらも、栽培を継続している生産者や、品目を転換して栽培を再開する生産者に対して、現地巡回を通じた相談対応や応急的な品目転換のサポート、今後の運転資金等を含めた経営支援などに取り組みました。

今後も生産者の意向に寄り添う普及活動を行います。

8 【椎葉村】農業者研修動画の視聴会を開催

9日及び10日、椎葉村役場で農業者向け基礎知識の学び直し研修（リカレント研修）の動画上映会を開催し、2名の生産者が参加しました。「病虫害防除」、「植物生理」、「GAP」等、5つの動画を視聴しましたが、今後の農業経営に十分役立つと感じられたようです。

椎葉村では、リカレント研修が開催される夏の時期は繁忙期であり、参加が難しい状況でしたが、椎葉村の農閑期に動画上映を実施することで参加が可能となり、良い刺激になったようです。



【リカレント研修の動画視聴】

9 【椎葉村】七草目揃い会で消費者に喜ばれる商品作りを確認

19日、JA椎葉支店営農センターで春の七草出荷目揃え会が開催され、生産者10名、関係者3名が参加し、バック詰め見本を確認しながら皆で活発な意見交換が行われました。

JAから出荷・調整に関する注意事項の説明が行われ、駐在からは気象情報やGAPの食の安全に関して説明を行い、異物混入等の注意喚起を行いました。

今年は高温や曇雨天の影響で生育の調整が難しく、個人では不足する品目もありましたが、相互補完で協力し合い、産地一丸となって商品作りを行っています。

このことにより、ボリュームや品質が統一され、消費者に喜ばれるより良い商品となることが期待されます。



【七草の商品作りを最終確認】